

高齢運転者に対する先進安全自動車利用促進に向けたモビリティ・マネジメントの効果



西堀泰英¹, 久野舜悟², 南野太一³

(1,大阪工業大学, 2,元 大阪工業大学 (現 川田建設株式会社), 3,元 大阪工業大学 (現 株式会社ニュージェック))

高齢者が安全に運転を続けるための対策が求められる

- 2025年末の運転免許保有者のうち75歳以上は8百万人を超え、10人に1人の割合を占める。65歳以上は2千万人を超えており、今後さらに運転免許保有者の高齢化が進む。
- 75歳未満と比べ、75歳以上の高齢運転者は交通事故を起こす割合が約2倍大きい。
- 生活に自動車が不可欠な地域も多く、安全に運転し続ける対策が求められる。そのための対策として、先進安全自動車（サポカー）の利用が期待される。



図1 高齢運転者による死亡事故の状況 (資料: 警察庁HP)



図2 サポカーの主な機能 (資料: 経産省サポカーHP)

サポカー利用促進MMの改良を検討し実施

- 筆者らはこれまで高齢運転者に対するサポカー利用促進のための情報提供に関する研究を行ってきた。
- 2024年度に行った結果から、サポカーを利用したくない理由として「お金がかかるから」「自分の運転に自信があるから」(自分事として捉えていない?)が多いことを確認した。
- これらの点を改良したサポカー利用促進MMを2025年度に実施

2025年度の試行の3つの改良ポイント

- 自分事と受け止めるよう物語形式の内容に
- わかりやすく伝えるよう動画形式とする
- 費用に関する補足資料を提供

実施したサポカー利用促進MMの試行内容

「物語形式」の内容を「動画形式」で伝える

- 2人の架空の人物を登場させ、サポカーに乗り換ええない選択と乗り換える選択の2ケースの結末を示す (3分17秒)



- 乗り換ええないヤスオさんは、事故に遭ってしまう
- 一方乗り換えたヒデオさんは、事故を回避できたという物語

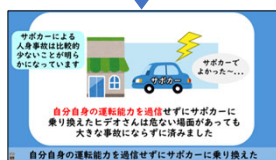
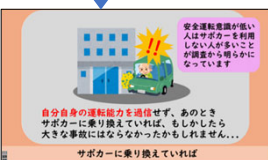


図3 動画による物語形式の情報提供のイメージ

費用に関する補足資料

- 動画で伝えきれない情報は、参考資料として配付

サポカー価格表			中古車価格表		
車種	グレード	価格	車種	グレード	価格
1	カローラ	¥2,280,000	1	カローラ	¥1,780,000
2	ヤリス	¥1,660,000	2	ヤリス	¥1,110,000
3	シエン	¥1,660,000	3	シエン	¥1,110,000
4	プリウス	¥2,130,000	4	プリウス	¥1,530,000
5	アクア	¥2,130,000	5	アクア	¥1,530,000

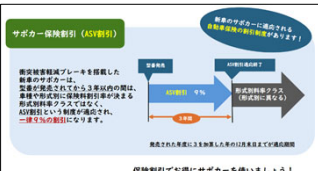


図4 費用に関する補足説明資料

高齢者講習参加者を対象に試行

- 試行は、八尾自動車教習所で高齢運転者講習の参加者を対象に実施
- 認知機能検査後に検査の採点中の時間を利用して情報提供
- 動画による情報提供を行う前後でアンケートを行い、サポカー利用意識の変化を調査



図5 試行の様子

表1 試行の概要

実施時期	2025年11月下旬～12月上旬
調査対象	八尾自動車教習所で行われる高齢者講習参加者
調査の流れ	①同意書記入, 事前調査回答, ②動画資料の再生, ③チラシの配付, ④事後調査回答
事前調査項目	属性, 運転頻度, 運転スタイル, 事故経験, サポカー利用意向・理由など
事後調査項目	補償運転実施状況, サポカー利用意向・理由
対象者数	98人(男性68人, 女性30人) 週1日以上運転: 87%, うちほぼ毎日運転: 40% 運転する96人を分析対象, サポカー利用者は31人

改良した情報提供の効果

改良した情報提供の効果を確認

- 乗り換えたい割合が、情報提供前と比べて15ポイント増加 (p=0.040, カイ二乗検定)
- 2024年度の紙資料による情報提供では有意な差は得られず (p=0.516, 同)

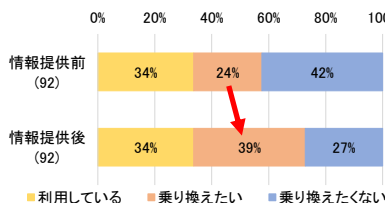


図6 情報提供前後の利用意向の変化 (無回答を除く, カイ二乗検定 p=0.040*)

今回の資料で利用意向を持つ割合は2割

- サポカーを利用したい理由は「今日の資料を見たから」を挙げる割合が情報提供後に2割
- 紙資料を用いた2024年度の結果と比べて7pt (ポイント) 大きい

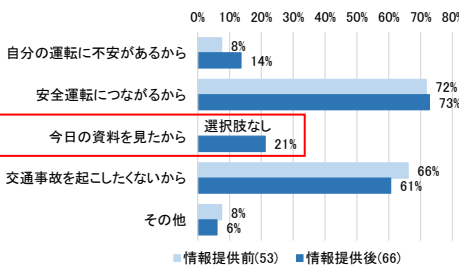


図7 サポカーを利用したい理由の変化

利用しない理由が運転の自信の割合が減

- サポカーを利用したくない理由は情報提供後に「高額なお金」が10pt減, 「自分の運転に自信」が20pt減
- 「自分の運転に自信」は2024年より24pt減

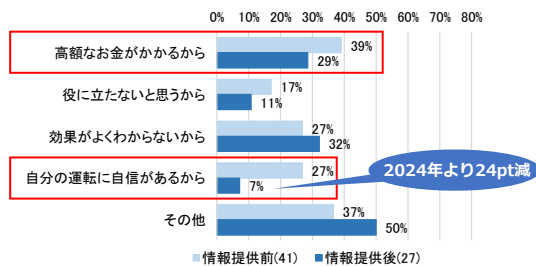


図8 サポカーを利用したくない理由の変化

まとめ

- ・物語形式の内容を動画で情報提供することで、サポカーの利用意向を持つ割合が増える効果を確認
- ・効果が確認できた要因は、動画は理解しやすいこと、物語形式で情報提供することで自らの運転を見つめなおす機会につながった可能性がある
- ・今後は、高齢運転者以外の機会などで対象者を拡大して実践することが課題である